

カトリック河原町教会だより

2021年11・12月

教皇フランシスコ 2021年6月2日一般謁見演説 祈りに関する連続講話(抜粋)

36. イエスこそ、すべての祈りの模範であり魂

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、おはようございます。

福音書は、祈りがイエスと弟子たちの関係にとって、いかに根本的なものであるかを伝えています。苦境にあるときにも、イエスの愛は変わらないことを知って、わたしたちは胸を打たれます。「しかし神父さま、大罪を犯してもイエスは愛してくれますか」。「そうです」。「イエスはわたしのために祈り続けてくれますか」。「はい」。「もし最悪なことをしてしまい、多くの罪を犯しても、わたしを愛し続けてくれますか」。「そうです」。わたしたち一人ひとりに対するイエスの愛と祈りが止まることはありません。終わらないどころか、ますます強くなります。イエスの祈りの中心にはわたしたちがいます。

わたしたちは次のことを学びました。イエスはご自分のように祈るようわたしたちに求めておられるだけでなく、どんな時にも、自分たちの祈りがまったく無意味で無力に思える時にも、イエスの祈りにより頼むことができると約束しておられます。今、この瞬間にも祈っておられます。そのことを何度も、繰り返し思い起こしてください。わたしが困難に直面しているときにも、注意散漫になりそうなときにも、イエスはわたしのために祈っておられます。それにしても神父さま、それは本当なのですか。本当です。イエスご自身がそう言われました。わたしたち一人ひとりの人生を支えているのは、わたしたち一人ひとりのためにさげられるイエスの祈りであることを、どうか忘れないでください。イエスはわたしたち一人ひとりのために、それぞれの姓と名を唱えて御父の前で祈り、わたしたちの救いの代償であるご自分の傷を見せておられます。

わたしたちの気弱な祈りは、イエスの祈りに支えられ、鷲の翼にのって、天に舞い昇ります。どうか忘れないでください。イエスはわたしのために祈っておられます。今でしょうか。今この瞬間です。試練のとき、罪にまみれたとき、そうしたときにも、イエスはあふれるほどの愛をもって、わたしのために祈っておられます。

教会の様子(インスタグラムより)



ゆだねられた信仰の遺産を学ぶ ～要理通読会へのお誘い～

洛東ブロック担当司祭 菅原友明

毎週木曜日午前 11 時 30 分から『カトリック教会のカテキズム 要約 (コンペンディウム)』(以下『要約』)の通読会を開催しています。『要約』は文字通り『カトリック教会のカテキズム』の要約として公布されたものです。この『要約』の大きな特徴は、カトリック教会の伝統的な要理書のスタイルを踏襲して、問答形式を採用していることです。まるで好奇心旺盛な子や生徒が、親や先生に、あれやこれやと立て続けに質問をするかのように、大切な教えが問いと答えを繰り返しながら書き連ねられています。読者である私達は、この問答のテンポやリズムに慣れてくるに従って、あたかも、この書の中に、2 人の登場人物が現れて、真剣に、また親しげに、対話をしているような趣を感じるようになっていき、戯曲を読むような楽しさも味わえます。問答形式による伝達は古来より諸賢人によって採用されてきたものです。プラトンはソクラテスを登場人物として著作の中に描き、彼と様々な人物との問答によって思索が展開されていきます。『論語』も孔子と個性豊かな弟子たちの問答を通して人生を導く教えを伝えています。福音書も同じで、イエスは、出会う人々との対話の中で、教えを説いています。

日常の会話でもそうですが、私たちはたった一言だけで意志の伝達を完了するのではなく、何度も言葉のやり取りを繰り返しながら、相手の言おうとしていることを徐々に把握していきます。初めは相手が何を言おうとしているのかわからなくても、やり取りが深まるにつれて相手の意図が明らかになってくるわけです。この『要理』も、そのように、だんだんと深められていくような構成がなされています。いきなり難しい用語が出てきて面食らうことも度々ですが、問答が続いていくに従って、伝えようとしていることが少しずつ明らかになっていきます。たとえば、「信仰を表す文言はなぜ重要なのですか」(31)という問いが出てきて、藪から棒になんの話だ?と戸惑うのですが、実は、それは、このあとの章で語られていく「信仰宣言」の意味合いを事前にほのめかす伏線になっているのです。

通読会では、まず「問」を読み、しばらくその「問」の意味を考える沈黙時間をとります。その後に「答」を読み、再び沈黙の時間を過ごして、各自がその言葉の意味を深めます。そしてもう一度、問と答を続けて参加者が朗読します。このように一つ一つの「問」と「答」をゆっくりじっくり味わい黙想しながら進めていますので、毎回 3~4 頁のペースです。最後に参加者で感想を分かち合う時間をとっています。

『カトリック教会のカテキズム』の冒頭に掲載された使徒憲章の中で、ヨハネ・パウロ 2 世教皇様は「ゆだねられた信仰の遺産を守ること、これこそ主がご自分の教会に与えられ、また教会がいつの時代にも果たしている使命です」と語られています。教会がどのような言葉で信仰の遺産を伝えようとしているのか、そ

の結晶が要理書の文章なのだと思います。通読会を通して「ゆだねられた信仰の遺産」に豊かに触れていただければ幸いです。

洛東ブロック信徒養成講座「要理通読会」毎週木曜日午前 11 時 30 分~12 時 15 分

テキスト『カトリック教会のカテキズム 要約(コンペンディウム)』(カトリック中央協議会) 税別 1200 円



ライムンド田中健一名誉司教 教区葬の様子(11月10日)



河原町教会の日常



Sr.ロサ 待降節黙想会 11月27日



避難訓練 10月17日



諸死者追悼ミサ 11月2日



Sr.テッシー 霊名のお祝い 10月23日



七五三お祝い 11月14日



入門式 11月27日



洗礼式 11月14日

2021年12月～2022年2月までの主な予定(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行事予定
12	3	金	司教座聖堂献堂記念ミサ 10:30
	5	日	[待降節第2主日] 宣教地召命促進の日(献金) 菅原神父霊名くアンノ 12/5>のお祝い 10:30ミサ中
	8	水	無原罪の聖マリア
	12	日	[待降節第3主日]
	19	日	[待降節第4主日] 教会美化デー
	24	金	主の降誕(夜半)ミサ 18:30・21:00
	25	土	主の降誕(夜半)ミサ 7:00・10:30・13:00(英語)
	26	日	聖家族 瀧野神父霊名くステファノ 12/26>のお祝い 7:00 ミサ中
	28	火	教区高校生会冬の集い 14:00
1	1	土	神の母聖マリア(元日ミサ) 7:00、10:30 世界平和の日
	2	日	主の公現
	9	日	主の洗礼
	16	日	[年間第2主日]
	18	火	キリスト教一致祈祷週間(～25日)
	23	日	[年間第3主日](神のことばの主日) 河原町教会総会 10:30 ミサ後
	29	土	洛東ブロック会議 山科教会 14:00
30	日	[年間第4主日] 世界こども助け合いの日(献金)	
2	2	水	主の奉献
	3	木	福者ユスト高山右近殉教者
	5	土	日本26聖人殉教者
	6	日	[年間第5主日]
	11	金	世界病者の日
	13	日	[年間第6主日]
	20	日	[年間第7主日]
	27	日	[年間第8主日]



お 知 ら せ (敬称略)

◆ 洗礼 おめでとうございます

2021.11.14 アマンダ 中口 春花 2021.11.14 ミカエル 中井 茂雄

2021.11.18 マリア リアン 中川 リアン

◆ 転出 どうぞお元気で

2021.10.22 アシジのフランシスコ 國井 雄太

◆ 帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2021.10.08 セシリア 高谷 房子

2021.11.05 ラファエル 佐々浪 昌夫

ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 9:00、18:30

1月から18:30のみ

日曜日 7:00、10:30、

12:00(英語・第2第4のみ)

最新の情報はウェブサイトでご確認下さい。

講座の時間(休講の日も有り)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

キリスト教入門講座

土曜日 16:00(Sr.テッシーのチーム)

養成講座(信徒・一般向け)

読書会

「カトリック教会の教え」読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

要理通読会

木曜日 11:30(菅原神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.ロサ)

聖書を学ぶ会

土曜日 11:00(Sr.ロサ)

みんなの集い

土曜日 15:00(菅原神父)

「ヘブライ人への手紙」を読む

第1土曜日 19:10(菅原神父)

「これから洗礼を受けられる方向け」は事務室か

rakuto.nyumon.class@gmail.com

まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2021.11・12 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>